

窮すれば変ず、変ずれば通ず

「物事が究極まで進行して行き詰まると、情勢に変化が起ころ。そこに新しい道が開けてくる」という意味ですが、他力では流されます。変化は自分が変わらない限り同じことです。何も変わりません。

いま戦後最大で歴史的な変革期であります。見えないうちで地殻変動が

起きています。

先見性と洞察力、素早い決断力と強い信念が不可欠です。最大限のリスクを予測し最悪をコントロールできると判断できたとき、予測に事象が交わると判断できるときは、目をつぶって果敢に挑戦すべきです。

行動とは勇氣(覚悟)とチャレンジのことです。

そのとき大きな仕事こそ、信じ任せられる人をどれだけ備え集められるかが問われます。

いま企業は負債が大きいのだから税金に頭を使う必要が少なくなつてきています。消費税を払えるのが幸せな時代?になりそうな感じがします。



原子力保安院の真実

原子炉の世界平均寿命は、22年で廃炉、福島第一原発の場合は、50年近くになる。

2010年の『エネルギー白書』で、原発が一番安いとなっています。現実を追加工場があるため、原価が5〜6円はウソで、今は15円前後となっている。

原発と太陽光発電の1KWあたりコストが去年逆転した。太陽発電が安いのです。(米)

原発コストは安全・廃棄物処理含めると暴騰(3倍以上・フランス・フィンランド建設例)しています。

いま原発利権勢力は築いた既得権益構造を守るため、マスコミ操作(プロパガンダ)に全力を挙げている。

いま原子力保安院を含め実に変です。

小学校の子供に、大人と全く同じ年間基準20ミリシーベルトはまったくおかしい。

政府は原発の非難区域を順次拡大している。計画停電は一挙に脅し実施し、真に原発に頼らなくてはならないのか。本当に疑わしい。我々は簡単に洗脳されているだけではないのか。

プルサーマル計画に反対した前福島県知事の佐藤栄久氏は作られた事件で東京地検に逮捕され上告中です。

電気事業連合会の自民党や電力総連に牛耳られた民主党と接待に飼い慣らされたマスコミとの三位一体で、国民を洗脳する国に未来が見えない。

儲けは社会の事業依頼

できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、社会人としての義務です。企業創設と雇用の拡大を理念に、県会議員になられた方がおいでます。大胆さのない者に勝利はない。細部に注意が必要ですが、こだわると何事も成すことは難しい。目的が明確でないと枝葉

末節に捕らわれ、行動が縛られ、勢いや切れが失われます。

チャンスは一回限り、出

会い頭の一瞬なのです。

その一瞬をつかめる人は、常に心の準備と、最悪を常に覚悟されています。

この場合は、殆ど裏目に

出ないものです。

事業を拡大し経済活動を活発にし、地域を強く大きく儲け雇用の創出と、

澤栄一翁のように多くの人を幸福にするのが使命です。地域からイノベーションを起こしましょう。

利を得てこそ社会に義を果たせま



(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年4月27日 (水) NO 190
 地域から明るい未来を作ろう